

地域の元気企業ガイド コロンブス総研



アイグローカルグループ 代表
公認会計士

燕木 優典さん

マーケットが成長しつづけるベトナムで 動画などを活用して多様化するニーズに対応

私が代表を務めるアイグローカルグループは、ベトナムのホーチミンとハノイ、ビンズン、そしてカンボジアに拠点を持つコンサルティングファームで、

主に日系企業の税務会計業務をサポートしています。

現在の日越関係は政治、経済ともに良好で、2017年の対越直接投資額(総認可額)は過去最高の86億4000万ドルを記録しました。また、17年の日本商工会員企業数は1753社と、03年の4.5倍にまで増加しています。

ベトナムといえば、かつては製造業の進出拠点というイメージが強かったかと思いますが、ここ数年はその市場性が注目を集めています。実際、15年の小売市場の規模は約11兆円と10年の約2倍にまで成長し、近年は非製造業のベトナム進出が増加傾向にありますし、私たちの顧問先のなかでもベトナムの内需に着目した消費財メーカーなどが順調に業績を伸ばしています。もちろん、外食・ホテル産業なども堅調で、15年の市場規模は約1.6兆円にまで成長しており、それにともないこの分野の進出企業も増えつづけています。

こうした状況にあって、顧問先のニーズはさらに多様化しており、サービスへの期待度もますます高まりつつあります。そこで、当グループではよりスピーディーかつ効率的に顧問先の相談に対応できるよう、さまざまな対策を講じています。そのひとつが2年前から取り組みはじめた動画制作です。たとえば、顧問先からのよくある質問などについては、あらかじめ解説用の動画を制作し、ウェブサイトなどで閲覧してもらえるような仕組みをつくっています。そうすることで、より付加価値の高いサービスに人的リソースを振り向けるようにしているのです。

当グループは今年で設立15周年を迎えます。創業当時から考えると、自分が立ち上げた組織がここまで大きくなるとは思いませんでした。ときには失敗することもありましたが、多くの人材に恵まれたおかげで、継続的な改善とチャレンジに取り組むことができ、現在に至ることができました。これからは自分の役割をドンドン若い世代の人たちに担ってもらい、創業者としてこの組織を誰よりも長い目で見ていきたいと思えます。

COLUMBUS
AMBA
YST